

「グローバルゼーションと食」

私たち「グローバルゼーションと食」受講生は、教室での座学と現場を歩き来しながら、年間を通して活動しています。普段はなかなか関われない農家さんや漁師さんと直接対話できるのは、この授業の魅力の一つです。体験の場を与えてくれる朝倉市の秋月や、福津市の農家さん、見ず知らずの女子大生を受け入れてくれた唐泊(からとまり)漁港など、私たちの学びは多くの人に支えられ、成り立っています。

現在、秋月の農家さんと JA 福岡中央会のご協力のもと行われている「アグリスクール」では、梨の摘果や袋かけ、収穫作業を体験しています。また、7月に行われた JA 久留米主催の消費者、生産者約 300 人が集まる「にぎりめしの集い」では、劇を交えながら、私たちがこれまで授業で学んできたことをテーマにプレゼンテーションを行いました。福津市の農家さんのもとでは、夏に田植え、秋に稲刈りを手作業と機械の両方で体験をしました。今年から新たに加わった水産漁業体験では、福岡市西区の唐泊漁港で、カキ養殖・加工品づくり体験、販売促進活動をしています。私たちは、自らを「カキがある!!(唐泊・福岡の水産漁業・福岡女子大学に活気がある、身近にカキがある、カキ girl)」と名付け、唐泊漁港と協働で、「唐泊恵比須かきくんせい」のパッケージデザイン作りも行っています。テレビ西日本のカキがある!!特集番組他、新聞、ラジオ、専門誌、SNS などでの積極的な発信・広報活動で、唐泊および福岡女子大学の、福岡地域でのプレゼンス向上を目指しています。

後期からは、自分たちで学習目標を定め、あと 4 か月後、自分たちがどうなっていたいか想像を膨らませながらシラバスを作成しました。その他、アグリスクールではフルーツ狩りへの集客率アップのためのチラシ作成や包装に入れる梨紹介のリーフレットを作成しています。また、九州経済産業局からは、女子大生のイメージと一見かけ離れたカキの養殖作業体験を行っているカキがある!!の活動に興味を持っていただき、福岡合同庁舎で行われる「企業と学生の魅力発見フォーラム」でのプレゼンテーションの場をいただきました。

私たちは、これらの体験を通し学外に出ることで、実社会に触れ、現場の方との折衝もありながら、少しずつ成長しています。学外に出て様々な大人と出会い、「こんなことに挑戦したい」、「こんな大人になりたい」と思い描けるようになったのもこの「グローバルゼーションと食」を受講して変わったことの一つです。6ヶ月前、大学が掲げる「次代の女性リーダー育成」はなんだかよくわかりませんでしたが、この活動から「女性リーダー像＝自分の在りたい姿」を持ち始め、それに向かって挑戦を続けています。

これから、1月12日(木)18時から開催予定の報告会に向け、後期の目標に立てた「授業での学びを日常生活や科目・専門分野に関連づけ、応用することができる」ように、「福岡女子大学に新しい文化をつくるために、『グローバルゼーション食』ならではのアクションがとれる」ように活動していきます。

【唐泊(からとまり)を熱く盛り上げる!!】カキがある!!Facebook ページ:

<http://www.facebook.com/kakigirl.fwu>